

# ムツサンゴ

## イシサンゴ目キサンゴ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

*Rhizopsammia minuta mutuensis* Yabe et Eguchi

### 選定理由

他の道府県では類をみないほどに能登半島の内浦海岸を中心に広く分布し、かつ生息密度も極めて高い。

### 形態

各個虫は石灰質の共骨で連絡し、莖は直径5mm、高さ8mm以下。触手は48本で共肉は美しい黄色またはオレンジ色をしている。

### 国内分布

陸奥湾が模式産地。日本海沿岸は小樽以南から若狭湾までと隠岐に分布する。太平洋沿岸では三陸海岸、相模湾、伊豆半島、大阪湾と瀬戸内海に分布する。

### 県内分布

能登半島の内浦海岸を中心に広く分布し、外浦海岸でも散見される。

### 生態

やや開放浜の岩礫性潮間帯の低潮位から水深3mほどの比較的平坦部で、ホンダワラ類が生育する仮根周辺を中心に生育している。場所によっては、浮き転石上でも見られる。

### 生息地の条件

陸からの土砂の流入や海洋汚染がないこと。

### 生存の危機

現在、人為的影響による生息環境の破壊はみられないが、堤防の設置や埋め立てなどの漁港の整備・拡張に伴う生息環境の破壊が懸念される。

### 特記事項

日本固有種。飛島での分布地は、山形県の天然記念物に指定されている。

### 参考文献

- 矢島孝昭・新谷力・又多政博. 1979. 能登九十九湾周辺海域におけるムツサンゴ *Rhizopsammia minuta mutsuensis* の生息状況. 金沢大学日本海域研究報告, (11): 81-91  
 矢島孝昭. 1986. ムツサンゴの生態分布. 南紀生物, 28: 37-40  
 坂井恵一・筒井功・山岸祐一・又多政博. 1996. 九十九湾周辺におけるムツサンゴ *Rhizopsammia minuta mutuensis* の分布状況. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (2): 61-63



写真提供者: 岡本武



県内の分布